

産婦人科研修プログラム

I 一般目標(GIO)

日常診療で遭遇する女性特有の疾患（婦人科領域）ならびに妊娠分娩、産褥期、成熟早期新生児の管理を理解する。

II 行動目標(SBO)

1) 修得すべき基本姿勢・態度・診察法

- * 医療面接；受診者および家族との間に良好なコミュニケーションを構築することができ、総合的かつ全人的に **patient profile** をとらえることができる。
- * 身体診察法；産婦人科診療に必要な基本的身体診察法を指導医のもとで実施できる。
 - ・ 膣鏡診、双合診
 - ・ Leopold 触診法
 - ・ 新生児の診察

2) 経験すべき検査、手技、治療法

- * 以下の臨床検査について自ら実施または検査依頼することができ、またその結果を解釈できる。
 - ・ 免疫学的妊娠反応、超音波断層法による妊娠の診断
 - ・ 経腹超音波断層法による胎児の評価
 - ・ 胎児心拍モニタリング
 - ・ 新生児の採血、黄疸の検査
 - ・ 子宮頸部細胞診検査
 - ・ 経腹および経膣超音波による骨盤内臓器の異常の有無の診断
 - ・ 放射線学的検査；骨盤 CT、MRI、骨盤計測、子宮卵管造影法
- * 基本的手技、治療法
 - ・ 妊産褥婦に対する投薬について、治療をする上での制限等に基づいて、指導医のもとで適正な処方ができる。
 - ・ 正常分娩の介助ができる（会陰裂傷縫合術を含む）。
 - ・ 指導医の指導のもと妊婦健診が実施できる。
 - ・ 腹式帝王切開術の助手ができる。
 - ・ 術後輸液療法を適切に実施できる。
 - ・ 婦人科悪性腫瘍に対する主な治療法について説明できる。
- * 以下の症状、病態、疾患を理解する。
 - ・ 正常妊娠・分娩・産褥・新生児
 - ・ 急速遂娩術（鉗子、吸引分娩）
 - ・ 子宮内容除去術（介助）
 - ・ 切迫流産、切迫早産
 - ・ 産科出血に対する応急処置
 - ・ 異所性妊娠

- ・ 婦人科悪性腫瘍（子宮がん、卵巣がん）
- ・ 良性婦人科腫瘍（子宮筋腫、卵巣腫瘍）
- ・ 外陰、膣、骨盤内感染症

3) その他

- * 産婦人科領域に関わる倫理的問題を理解する。
- * 母体保護法関連法規を理解する。

III 方略 (LS)

- * 指導医、主治医、後期研修医の指導とともに、研修医 1 人あたり数名の患者を受け持ち、診療にあたる。
- * 外来診療を指導医と共に行う。
- * 受け持ち患者の手術に助手として立ち会う。

IV 評価 (EV)

指導医、もしくは責任指導医は、研修医の一般及び行動目標における知識・技能・態度の研修到達レベルを、研修中、あるいは研修終了時点において評価する。